

駒ヶ根市公民館協議会 平和講座

希望掲載時期	☒ 事前告知を希望 ☒ 当日取材を希望
日 時	令和 8 年 7 月 18 日（土）午後 1 時 30 分～3 時
場 所	駒ヶ根市立赤穂公民館 ホール
対象者	どなたでも（入場無料・申し込み不要）
目 的	「国策として送出された満蒙開拓団とは何だったのか」について具体的に知ることを通して、人と命、戦争と平和についてあらためて考える機会とする。
内 容	講演会 演台「満蒙開拓団はどのように送り出され どのように終わったか」 ～ 上伊那の開拓団体験者の証言を中心に ～ 主催：駒ヶ根市公民館協議会（赤穂・中沢・東伊那公民館） 講師：矢澤 静二 さん（日本教育史学会会員、郷土研究誌「伊那路」編集委員） 講師略歴 元赤穂小学校教頭（H15～17） 赤穂東小学校校長（H23～24） 詳細は、別紙チラシをご覧ください。

【問い合わせ】

長野県 駒ヶ根市 教育委員会 社会教育課 赤穂公民館

（館長）小松 （担当）伊藤

TEL：0265-83-4060 FAX：0265-82-6715

E-mail：aka-kou@city.komagane.lg.jp



駒ヶ根市PRキャラクター

「こまっぱ」

令和8年度 駒ヶ根市公民館 平和講座

満蒙開拓団は どのように送り出され どのように終わったか ～上伊那の開拓団体験者の証言を中心に～

昭和7年に始まり、同11年から国策として送出された満蒙開拓団は上伊那全体で約2,091人、赤穂町200人、中沢村95人が送出されました(伊那村0)。しかし、敗戦によって悲惨な結末を迎え、半数以上が生還できませんでした。

戦争は国家の為政者が権力をもって人を人でなくさせる最悪の事態です。世界各地で新たな戦争が起こされている今、私達はまさにそれを見せつけられています。

今回は「満蒙開拓団とは何だったのか」について具体的に知ることを通して、人と命、戦争と平和についてあらためてみんなで考えてみませんか。



満州開拓伊南郷慰霊碑(中沢菅沼)

7月18日(土)
13:30～15:00

(開場13:00)

- ・入場無料
- ・申込不要

赤穂公民館 ホール
講師 矢澤 静二 氏

日本教育史学会会員 / 「伊那路」編集委員

主催 駒ヶ根市公民館協議会 (赤穂・中沢・東伊那公民館)

お問い合わせ先 赤穂公民館 TEL: 0265-83-4060

